

クライシスマネジメント協議会が発足



先月28日に日本工業倶楽部で行われた設立総会には役員をはじめ約70名の関係者が出席した



あいさつする石原会長

関連産業を育成・組織化

クライシスマネジメント協議会が先月28日、発足した。同日、東京都千代田区の日本工業倶楽部で行われた設立総会には、会長の石原信雄元内閣官房副長官をはじめ、多数の役員を含む関係者約70名が出席した。今後、

大規模地震や新型インフルエンザの大流行などの甚大な災害に備え、官民の連携を視野に、防災や危機管理に関する産業の育成・組織化や、企業における必要な態勢の構築などを目標とする。 (先月28日付一面・一部要部改題)

会長に石原信雄元内閣官房副長官

同協議会は、その目的として、わが国社会の信頼性や生活の向上に向け、企業・地域・行政の参加の下、地域と産業による防災・危機管理運動を推進する。具体的には、危機管理戦略を策定し、防災産業の優れた企業の創成や防災・災害援

助の向上、普及啓発活動を推進するほか、あらゆる災害への救済機能の強化を図り、防災産業の振興に資する。また、企業・団体・地方自治体などを組織化して、関連産業の形成や関係者の連携強化の促進を目指す。そのため、官民連携の協議組織の構築をはじめ、

①の「組織化」。事業官民連携では、防災機器・インフラ、物流・運送、建設報道・通信、金融・保険、警備・医療・医薬品、社会福祉・食品教育・労働産業廃棄物処理など広範な分野を想定している。協議会では、初めに専務理事の長田逸平前日本生産性本部首席調査役が発壇し、昨年8月に日本生産性本部の中に発足した「シシスマネジメント」協議会の活動を通じて、協議会の設立に至った経緯を説明した。続いて、会長の石原信雄元内閣官房副長官が挨拶を述べた。石原氏は「阪神・淡路大震災が発生した当時、大規模な災害行政機関だけでは決して十分対応できず、地域住民の皆さんが各々各々で力を合わせて対応する必要性を痛感した。中でも企業における防災体制の整備・充実が重要である」と語る。石原氏は「災害は忘れた頃にやってくる」と語り、防災・危機管理に関する産業の育成・組織化や、企業・団体・地方自治体などを組織化して、関連産業の形成や関係者の連携強化の促進を目指す。そのため、官民連携の協議組織の構築をはじめ、

企業の態勢構築を促進

ホームページ: <http://www.crisis-management-conference.org/>

役員リスト (順不同・敬称略)

- 会長: 石原信雄 (元内閣官房副長官)
 副会長: 林 省吾 (元総務事務次官・元消防庁長官)
 佐藤英彦 (元警察庁長官・警察庁顧問)
 先崎 一 (元防衛庁統合幕僚長)
 神野直彦 (東京大学名誉教授・地方財政審議会会長)
 笹森 清 (元日本労働組合総連合会会長)
 前田正史 (東京大学副学長・理事)
 顧問: 安藤忠雄 (東京大学名誉教授)
 石井隆一 (富山県知事・元消防庁長官)
 渡辺利夫 (拓殖大学学長)
 小嶋勝衛 (前日本大学総長・理事長)
 長谷川 忍 (日本交通協会副会長)
 阿部孝夫 (川崎市長)
 望月光正 (日通不動産常務取締役)
 大野春雄 (建設教育研究推進機構構理事長)
 専務理事兼事務総長: 長田逸平 (前日本生産性本部首席調査役)
 理事: 岡田 晃 (全日本空輸取締役)
 小林知義 (大日化成代表取締役・国土政策研究会理事)
 花澤義和 (NPO法人環境国際総合機構理事長)

- 三井栄志 (近代消防社社長)
 波田幸夫 (環境新聞社社長)
 鈴木哲夫 (日本BS放送報道局長)
 高橋健文 (元内閣府政策統括官)
 目黒公郎 (東京大学生産技術研究所都市基盤安全工学国際研究センター長)
 加地照子 (日本ホスピタリティ・マネジメント学会理事)
 酒井美枝子 (アベイラス代表取締役)
 山本保博 (東京臨海病院長)
 白谷祐二 (東京防災指導協会)
 瀬川勝久 (元警察庁警備局長)
 矢野義昭 (元陸上自衛隊小平小学校副校長)
 渡邊真一 (私立幼稚園経営者懇談会会長)
 幹事: 奥村政一 (元日本経営者団体連盟業種幹事会副議長)
 木田 悟 (建築・まちづくり協力研究所専務理事)
 井田正道 (明治大学教授)
 桜井 勝 (国土館大学教授)
 坂本哲之助 (元日本労働組合総連合会副事務局長)
 山下 亨 (トイレフォーラム21代表)
 酒井 剛 (環境新聞社事業部長)

